

水田フル活用の実現に向けた取組について

水田をフル活用して食料自給率・自給力の向上を図るため、平成21年3月26日開催の千葉県水田農業推進協議会総会において、下記の事業方針を決定した。

記

- 1 本協議会としては、「地域水田農業ビジョン」の点検・見直し及び「産地確立交付金」等の有効活用を通じて、生産調整の実効性の確保と本県水田農業の構造改革と経営安定が図られるよう、関係機関団体との連携の下に、集落における合意形成を推進し、農業者・農業者団体が主体となった取組を促進・支援する。
- 2 特に、湿田が多く高齢化等による労働力が不足しているといった本県が抱える水田に関する諸条件、並びに飼料増産の推進方針と併せて、転作作物は飼料用作物を中心として推進する。
- 3 なかでも、水田を水田のままフル活用でき、食料自給率・自給力の向上に資する飼料用米及びホールクロップサイレージ稲を重点作物として強力に推進する。
- 4 併せて、従来の対策で産地形成した麦・大豆については、安定した営農の継続を図るとともに、地産地消による加工用米、新規需要米としての米粉の取組も推進する。

平成21年3月26日

千葉県農業水田農業推進協議会

千葉県
千葉県農業協同組合中央会
全国農業協同組合連合会千葉県本部
千葉県米穀集荷商業協同組合